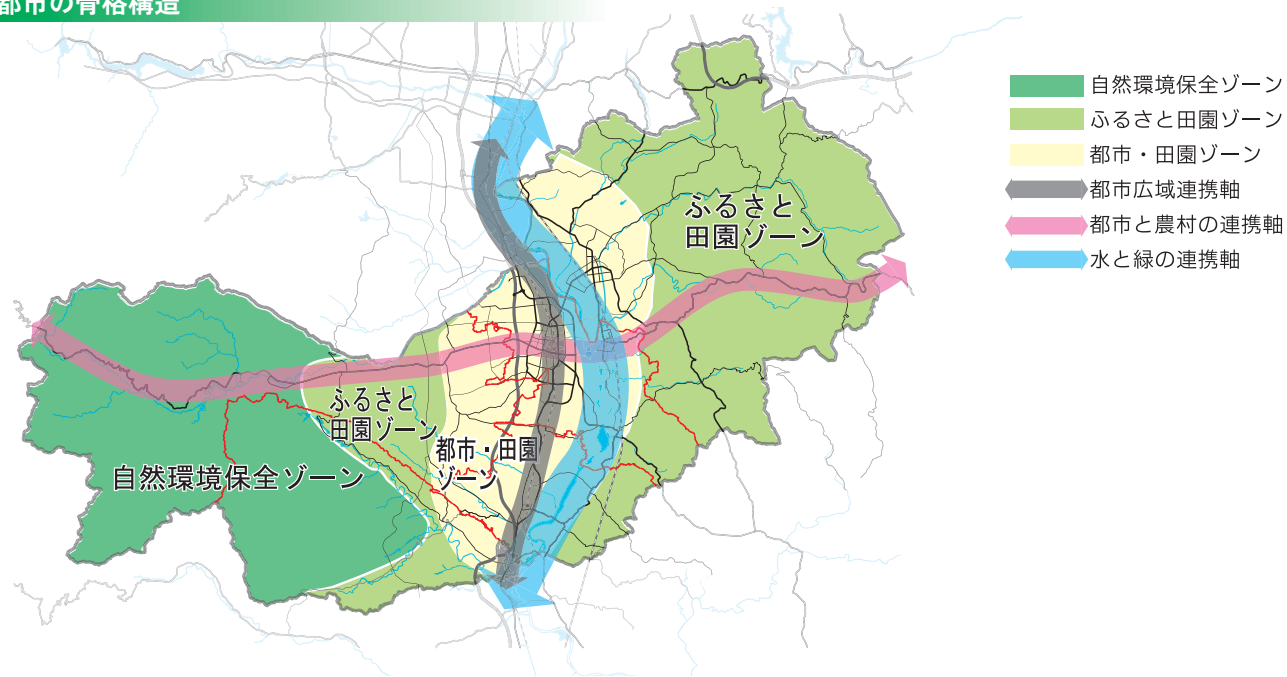


1 都市の骨格構造



2 地域別構想

【水沢北部地域（水沢 / 南 / 常盤 / 佐倉河）】

～歴史・文化が息づく世界に誇れるまち～

- ・副県都の形成を牽引するまちづくり
- ・歴史・文化と水と緑による回廊づくり
- ・中心市街地の賑わいづくり

【水沢南部地域（真城 / 姉体 / 羽田 / 黒石）】

～北上川エリアの豊かな歴史・文化・自然のあるまち～

- ・広域交通の玄関口にふさわしい環境づくり
- ・正法寺、黒石寺や伝統産業を活かした賑わいづくり
- ・北上川周辺の豊かな自然環境を保全・活用したまちづくり

【江刺西部地域（岩谷堂 / 愛宕 / 稲瀬）】

～地域が仲良く、水と緑とうるおいのある田園都市～

- ・岩谷堂地区を中心とする回遊性の高いまちづくり
- ・農村景観・文化の香るまちづくり
- ・水と緑とうるおいのあるまちづくり

【江刺南東部地域（田原 / 藤里 / 伊手）】

～活力のある安心して住めるふる里～

- ・安心して住み続けられる里づくり
- ・高齢者が自立できる里づくり
- ・豊かな自然環境を守る里づくり

【江刺北東部地域（米里 / 玉里 / 梁川 / 広瀬）】

～人と自然 光り輝くゆとりの里～

- ・新たな北の玄関口としての里づくり
- ・清流等の豊かな環境と共存する里づくり
- ・りんご等の特産物を活用した里づくり

【前沢地域】

～活力に満ちた桜梅の郷～

- ・前沢駅を中心とした活力のあるまちづくり
- ・歴史・文化と自然を活かした住み続けたいまちづくり
- ・災害に強い安全安心なまちづくり

【胆沢地域】

～水と緑と散居の郷いさわ～

- ・水と緑を活用した郷づくり
- ・散居景観を活用した郷づくり
- ・歴史・文化資源を活用した郷づくり

【衣川地域】

～健康いきいき人間豊かな郷～

- ・豊かな自然環境の維持・保全と働く場の創出
- ・暮らしを支えるコミュニティの充実と歴史・文化の伝承
- ・周辺地域との連携強化と情報通信基盤の充実

■計画の閲覧

計画本文・概要版は、本庁都市計画課、各総合支所地域整備課、市ホームページで閲覧可能

■問い合わせ

本庁都市計画課計画係
(内線 523・524)

「地域別構想」、それを実現するための方策を示した「実現化方策」によって構成されます。

「全体構想」の中で定めた都市の骨格構造は、土地利用の現況や規制、地形や道路交通網から「都市・田園ゾーン」「ふるさと田園ゾーン」「自然環境保護ゾーン」に区分（上記1参照）。また、東北自動車道や国道4号沿いなどを「都市広域連携軸」、国道397号沿いを「都市と農村の連携軸」、北上川沿いを「水と緑の連携軸」として他市町との連携を目指します。

「全体構想」を受けて、地域ごとに特色あるまちづくりを進めるために地域別構想を作成しました。5つの自治区を基本に、地理的な条件を踏まえて8地域に分類。地域ごとの構想は上記2をご覧ください。

『環境にやさしく 誰もが住みたくなる 訪れたくなるまちへ』

奥州市都市計画 マスタープランが完成

市はことし3月、奥州市都市計画マスタープランを策定しました。

この計画は平成42年までの20年間、本市の都市計画の総合的な指針となるもので、都市計画に関する個別・具体の計画や事業は、これに沿って進められます。

目指すべき都市像や、まちづくり構想などについて紹介します。



計画策定までの経過

計画の策定に当たっては、アンケートや市民ワークショップ、まちづくり懇談会などを行って皆さんの意見を伺ってきました。また、公募委員や市民団体、関係団体、市などで構成されるワーキンググループ協議や策定委員会などで議論を重ね、策定しました。

将来都市像の実現へ 3つの基本目標

この計画が目指すべき都市像として掲げたのは「歴史息づく健康文化都市 産業の力みなぎる副県都」。これは市総合計画と同じ都市像になります。

そして、この都市像を実現するために「環境にやさしいまちづくり」「住みたくなるまちづくり」「訪れたくなるまちづくり」の3つを大きな基本目標として決めました。

1つ目の「環境にやさしいまちづくり」では、▽農山村と都市との連携によるまちづくり▽コンパクトで効率的な市街地づくり▽自動車に過度に依存しないまちづくり——を進め、地球環境に優しい、持続可能なまちづくりを目指します。

2つ目の「住みたくなるまちづくり」では、▽新たな活力の

源となる産業の受け皿づくり▽都市整備基盤整備と都市機能の充実▽人にやさしいまちづくり▽災害に強いまちづくり——を進めてまちの魅力向上を図り、誰もが住みたくなるまちづくりを目指します。

3つ目の「訪れたくなるまちづくり」では、▽水と緑が豊かな潤いを感じられるまちづくり▽世界に誇れる歴史・文化が息づくまちづくり——を進めます。本市の資源を生かした観光基盤の整備や、景観づくりなどを行い、訪れた人が「もつと長く滞在したい」「また来たい」として「住んでみたい」と思える、奥州市らしさが感じられるまちづくりを目指します。

そして、この3つの基本目標を実現するために、市民、事業者、行政の「協働」で、さまざま

まな取り組みを進めていきます。地域にとって貴重な自然環境や景観資源の保全・活用、生活道路や身近な公園、危険な個所の改善などは、地域住民と力を合わせて、きめ細やかな取り組みを行っていきます。

人口減少、高齢化社会の進展による地域コミュニティの弱まり、相互扶助機能の低下、地域産業の衰退などの問題に対しては、市民、事業者と共に新たな協働のあり方を検討し、その仕組みづくりを進めます。

まちづくりの方針を示す 2つの構想

この計画は、都市の骨格構造や市全体のまちづくりの方針を示した「全体構想」と、地域ごとのまちづくりの方針を示した